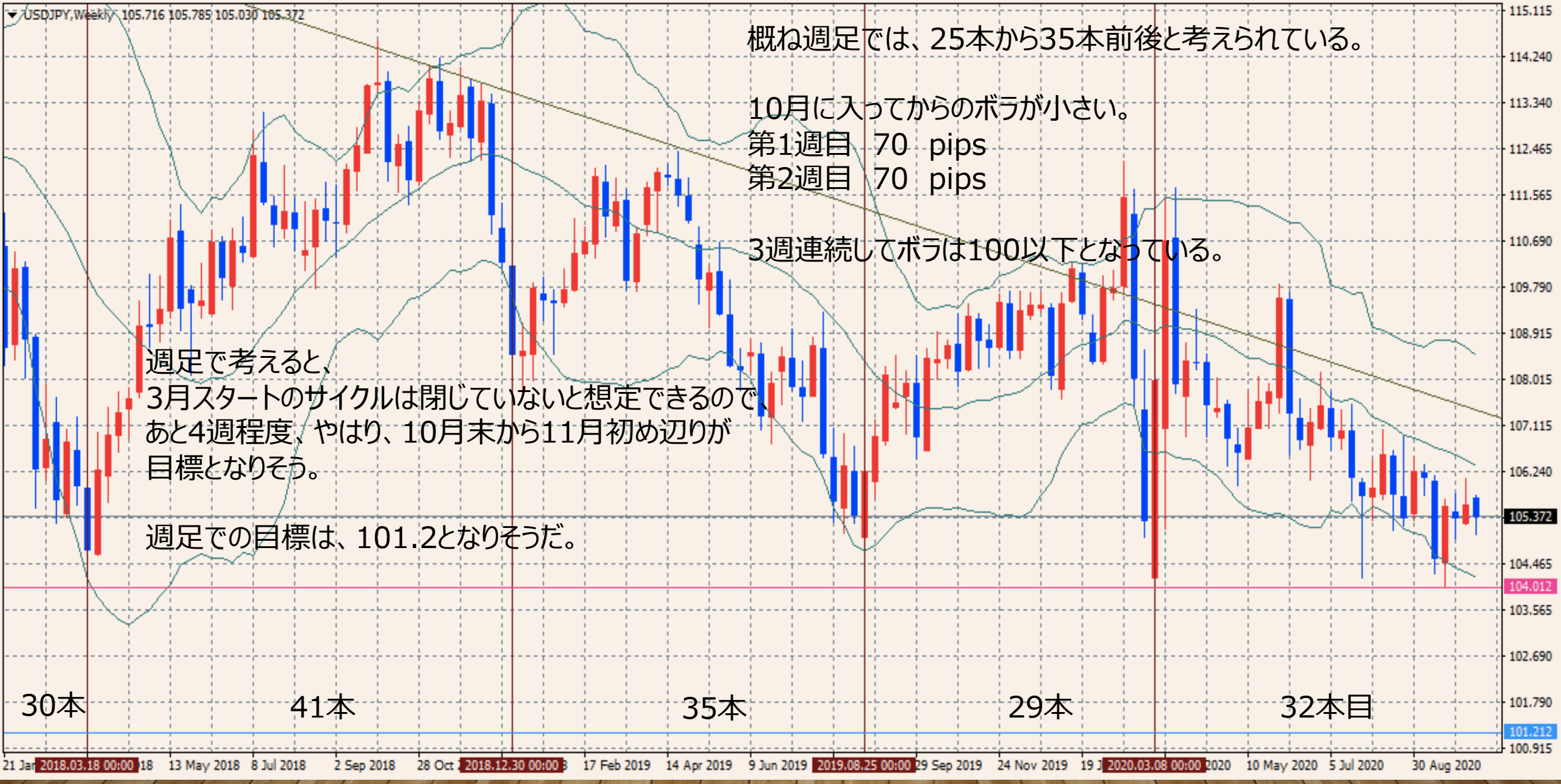
福山 紫生(SYO FUKUYAMA)のどるえん相場環境認識・備忘録！

今回は月足から・・・！！

20201017_作成

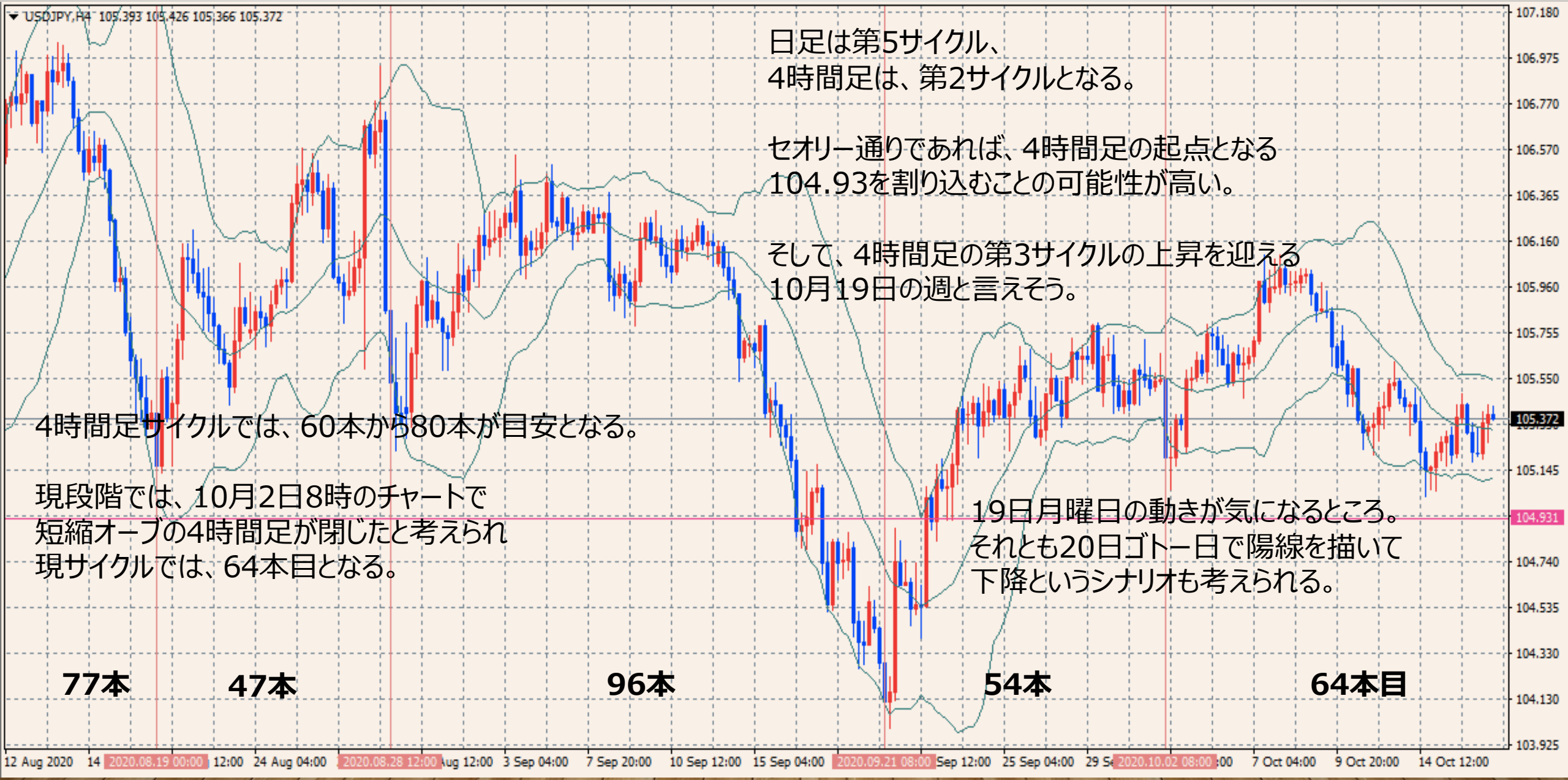
USD/JPY MONTHLY 2008-2020

USD/JPY WEEKLY 2017-2020



USD/JPY DAILY 20191101-20201017

USD/JPY 4H 202008-202010



USD/JPY VOLATILITY

3週連続で週ボラが100 pipsに届かず。
これでは、勝てないのは正論であろう。

ボラティリティ シート

2020年 USD/JPY 参照DMM BID rate

Julian Date	日付	曜日	東京市場	OPEN AV	CLOSE AV	O/Cボラ	最高値	最安値	ボラ	傾向	週ボラ	日ボラ平均
275	2020年10月1日	木曜日	開場	105.53	105.518	1.2	105.727	105.403	32.4	下降トンボ	86.1	44.92
276	2020年10月2日	金曜日	開場	105.524	105.366	15.8	105.655	104.943	71.2	下降		
277	2020年10月3日	土曜日	お休み								2020_日ボラ平均→	78.20
278	2020年10月4日	日曜日	お休み									
279	2020年10月5日	月曜日	開場	105.445	105.604	-15.9	105.794	105.403	39.1	上昇	106.107	→ 週最高値
280	2020年10月6日	火曜日	開場	105.525	105.652	-12.7	105.783	105.47	31.3	上昇	105.403	→ 週最安値
281	2020年10月7日	水曜日	開場	105.588	105.823	-23.5	106.107	105.592	51.5	上昇	↓ 週ボラ	↓ 日ボラ平均
282	2020年10月8日	木曜日	開場	105.706	106.004	-29.8	106.104	105.923	18.1	上昇	70.4	37.16
283	2020年10月9日	金曜日	開場	105.855	105.806	4.9	106.039	105.581	45.8	下降トンボ		
284	2020年10月10日	土曜日	お休み								2020_日ボラ平均→	77.20
285	2020年10月11日	日曜日	お休み									
286	2020年10月12日	月曜日	開場	105.83	105.515	31.5	105.739	105.242	49.7	下降	105.739	→ 週最高値
287	2020年10月13日	火曜日	開場	105.673	105.427	24.6	105.627	105.268	35.9	下降	105.035	→ 週最安値
288	2020年10月14日	水曜日	開場	105.55	105.294	25.6	105.516	105.035	48.1	下降	↓ 週ボラ	↓ 日ボラ平均
289	2020年10月15日	木曜日	開場	105.422	105.288	13.4	105.492	105.073	41.9	下降	70.4	40.26
290	2020年10月16日	金曜日	開場	105.355	105.369	-1.4	105.447	105.19	25.7	上昇トンボ		
291	2020年10月17日	土曜日	お休み								2020_日ボラ平均→	76.31

どるえん　まとめ　20201017現在

- シナリオは2つ　　（上昇と下降）
- 上昇と考える要素
  - 大きな流れは下降だと考えられるが、105.5辺りが壁になるのではないか？
  - 月曜日朝に大きな窓開けとなった場合、
    - そして、104.93を下回った窓開けであれば、戻ってくることが必須と考えられる。
    - その際、どこまで上昇か？を考えると、全戻しで105.5辺りではないか？
    - また、20日ゴトー日での最終到達点が、105.8辺りでストップするのでは？
  - 窓開けなしの場合、金曜日夜の戻りの延長が、105.8まで続くか？

どるえん　まとめ　20201017現在

- シナリオは2つ　　（上昇と下降）
- 下降と考える要素
  - 104.0で止められたものの、週足の流れは下と考えられる。
  - 日足は第5サイクルとなり、LTを想定。
  - 4時間足では、第3サイクルの始まりが予想される。
    - 月曜日にサイクルを閉じた場合、19日の週でトップが現れる可能性がある。
    - 現時点での106.1から105.6までを下降エリオットの1波と想定すると2波が105.8辺りで止められ、現時点では、下降第3波の押し目と捉えられるかもしれない。